

京都府小学校教育研究会

社会科教育研究指定校

2年次研究協議会

亀岡市立亀岡小学校



本日の流れ

研究主題について

2年目に目指したこと

授業研究部より

カリキュラム研究部より

理論・子どもの変容部

3年目に向けて

亀岡小学校の教育

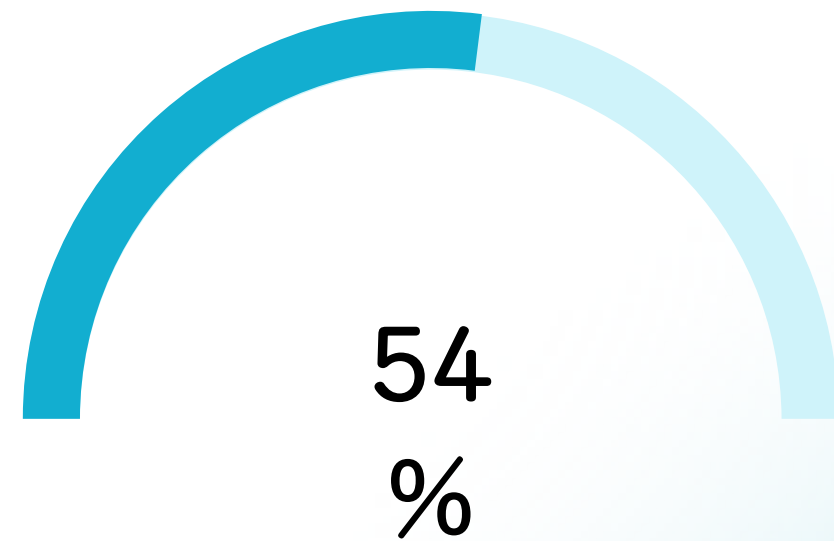
「子どもは 子どもの中でこそ 育つ」

学校教育目標

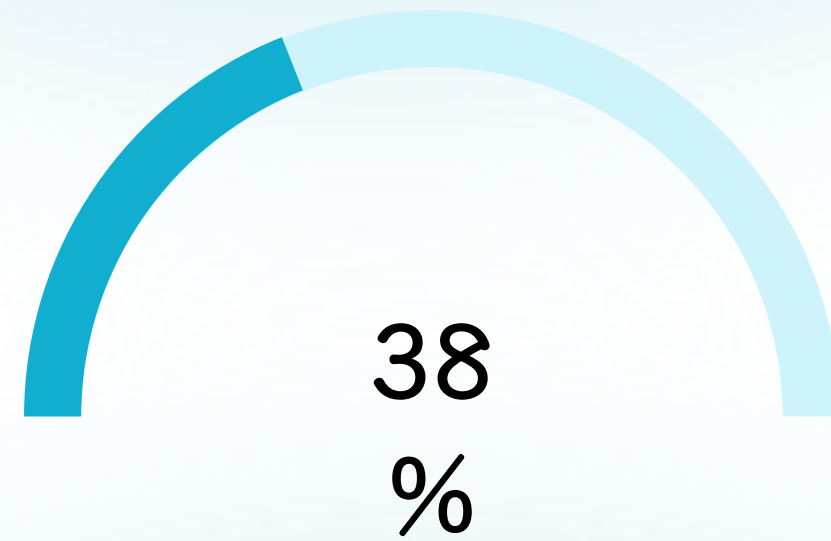
「グローバル社会で 将来 豊かに生き
活躍できる児童の育成」

令和2年度社会科アンケートより

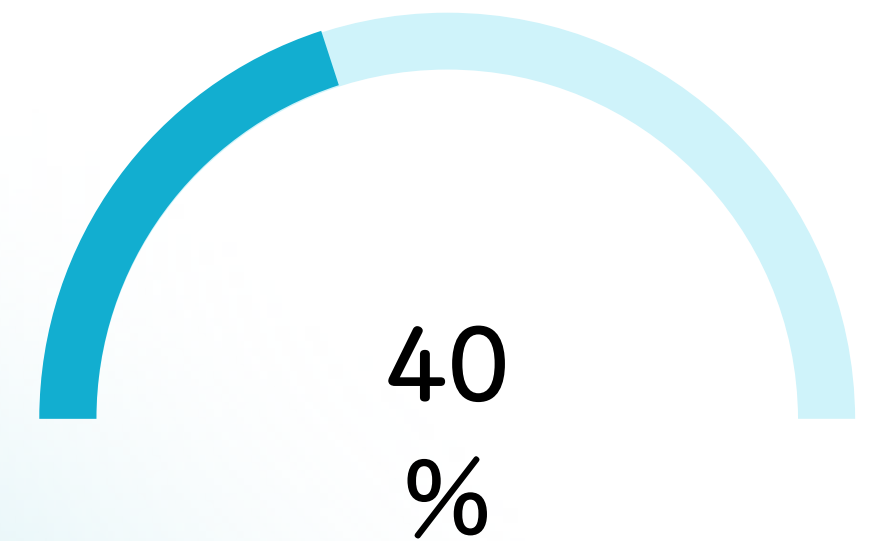
(6年生のみに実施)



社会科に興味がある



自分の考えを
伝えることが好き



積極的に調べたり、
考えるのが得意

社会科を通して

▶ 見通しを持って意欲的に学べる
ような授業を！

▶ いろいろな角度、視点から
自分で考えられるように！

▶ 受け身ではなく、関心を持って！

▶ 考えたことを自分の言葉で表現
できるように！

研究主題

「社会的事象に関心を持ち、
多角的に捉えて
自分の考えを表現できる児童の育成」

1年目までの成果

- 単元を貫く問いや知識の構造図を
指導案に盛り込む
- 社会科を中心としたカリキュラムの作成
- 指導と評価の一体化の検討・考察ができた

子どもも
大人も
わくわく
どきどき
社会科授業をする！

学校目標・研究主題

研究体制の見直しを！



研究体制



授業研究部

カリキュラム
研究部

理論・子どもの変容
研究部

授業研究部

- ・ 問題解決が学習における有効な「単元を貫く問い」の検討
- ・ 児童が我が事として考えられる導入の工夫
- ・ 教師が主体的に参加できるような研修の充実

カリキュラム研究部

- ・ 社会科を中心とした教科間のつながりの整理
- ・ 我が事として自分の考えを表現する「かめの子トーク」
- ・ 系統的な地域教材

理論・子どもの変容研究部

- ・ 生活科、社会科アンケートの実施
- ・ OPPシート（1枚ポートフォリオ評価法）の活用
- ・ 抽出児童の本単元における変容

授業研究部

- ・ 問題解決が学習における有効な「単元を貫く問い」の検討
- ・ 児童が我が事として考えられる導入の工夫
- ・ 教師が主体的に参加できるような研修の充実



単元を貫く問いとは

START

単元を貫く問い

つきたい力
単元目標

GOAL!

単元を貫く問いの成立条件

?→!



問題が分かりやすく、
子供が興味・関心を持つもの



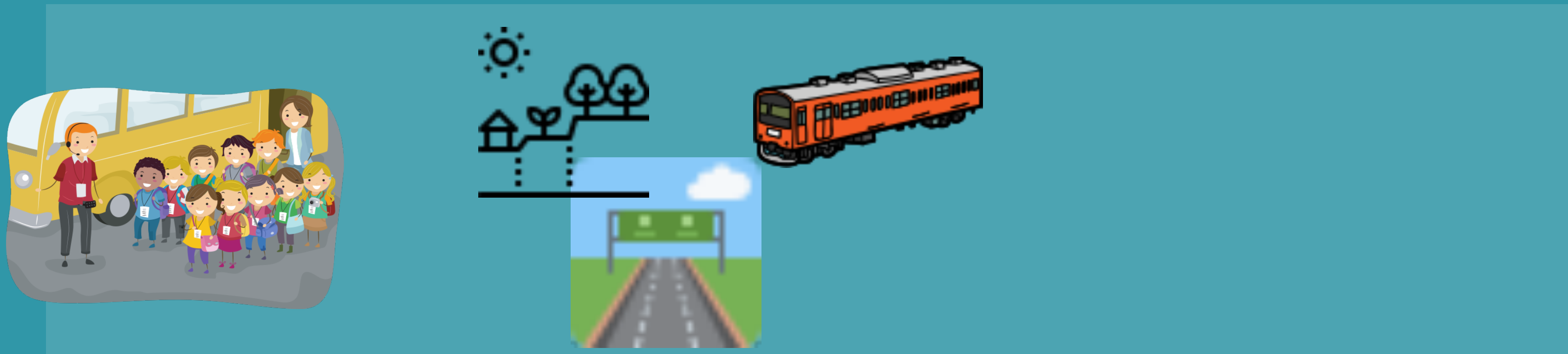
問題に対する学習計画が
立てられ、
見通しが持てるもの



みんなで知恵を出し合う
必然性が生まれるもの

3年生「わたしたちのまち みんなのまち」

自分のお店をつくるなら、亀岡のどこに作りますか。



まち探検を通して、
お店を知った
子どもたち

地形・土地利用・
交通の広がりを学習して
いき

それらを根拠として亀岡の
特色を生かしたお店を考え
ることができた

1年生 生活科「ひろがれ えがお」

かぞくにえがおをとどけよう



1年生「ひろがれ えがお」

かぞくにあがおをとどけよう





単元を貫く問いを
生み出すための「工夫」



5年「わたしたちの生活と食料生産」



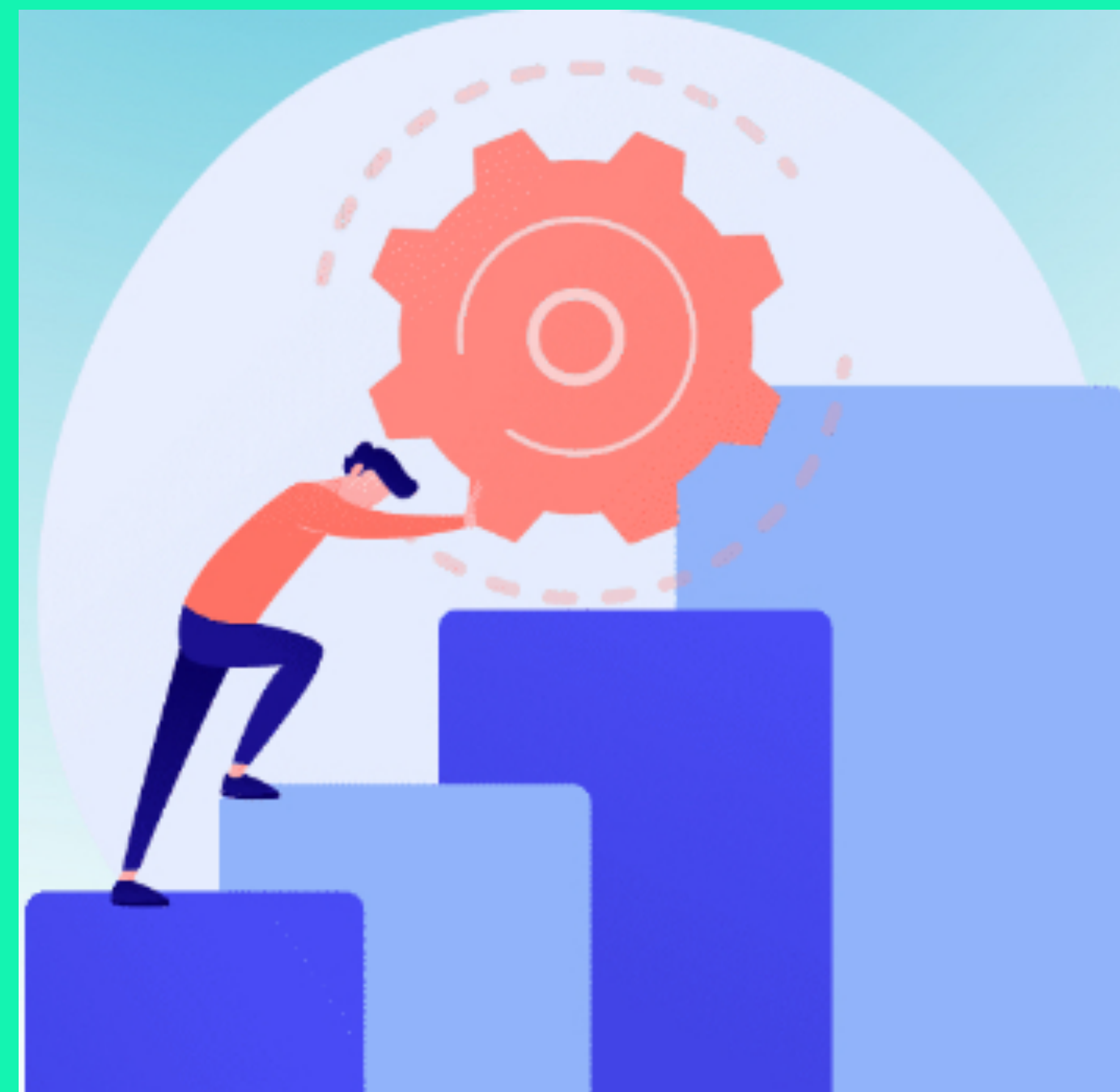
どうなってるの!?

やばいやん!



エビフライできひんやん!!

研修の充実



全体研修の充実

教科研究だけでなく
教職員みんなで
現代社会で起きていることや
注目されていることについて
考える



世界の革新的な大学ランキング 2022 /

1位	ミネルバ大学 	6位	ハンザ応用科学大学 
2位	アリゾナ州立大学 	7位	アールト大学 
3位	マサチューセッツ工科大学 	8位	エコール 42 
4位	スタンフォード大学 	9位	カリフォルニア工科大学 
5位	ペンシルベニア大学 	10位	ハーバード大学 

出典: The WURI Ranking

イラストの中の行動に至った
原因として考えられる事柄を
できるだけ多く記載してください

※制限時間:5分

※模擬試験問題です

ミネルバ大学



みんなも考えてみてね



事後研の充実



→ ラウンドスタディ形式
授業ステップアップ宣言



ラウンドスタディ形式

ラウンド1



グループで協議

ラウンド2



旅人とホストに分かれ
旅人は、他グループの話を
聞きに行き
ホストは、訪れた旅人に
自グループの協議内容を伝える

ラウンド3



元のテーブルに戻り、
他から聞いた情報を共有し、
さらに協議を深める

教職員同士の対話が活性化

授業ステップアップ宣言



明日からの自分の授業で実践したいことを明確にすることで、参観者も自分事として取り組む。

授業ステップアップ宣言

6月24日 氏名()

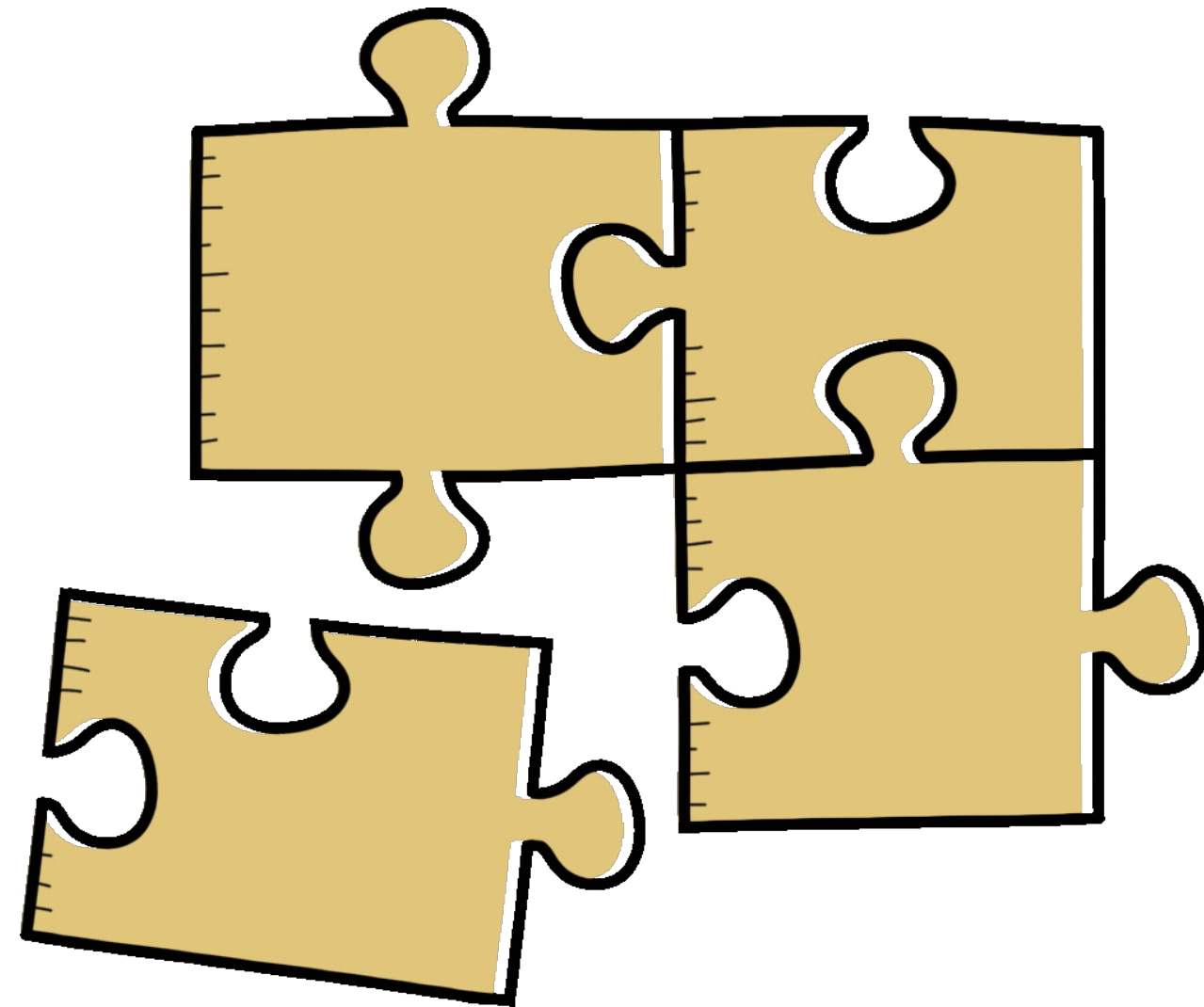
授業や事後研をもとに、自分の実践を振り返り、自分が学んだことや自分の授業に生かすこと、明日から実践してみることなどを自由記述します。

同じ単元に取り組む中で、発問の重要性とその発問を
作り出し難しさを実感しました。どんな風に発問をすれば学びと
なる部分が見出しの中に出てくるのか、ゴールから逆算することの
大切だと思いました。ゴールから逆算して授業を作り、発問を
考えようと思いました。

記入・提出、机・椅子を後ろに戻してご退出ください。

カリキュラム研究部

- ・ 社会科を中心とした教科間のつながりの整理
- ・ 自分事として自分の考えを表現する「かめの子トーク」
- ・ 系統的な地域教材の発掘



研究主題 社会的事象に関心を持ち、多角的に捉えて自分の考えを表現できる児童の育成

つけたい4つの力

自分の考えをもつ力(A)

- ・自分の考えを伝えるために書く時間を設定
- ・それをもとに少人数で交流

自分を表現する力(B)

- ・相手の意見に対して自分なりの考えを伝える
- ・自分の考えを話す場を設定
- ・多様な媒体を使い、自分なりの方法で表現する

人を大切にする力(C)

- ・相手を思いやる言葉遣いをする
- ・頑張る姿を評価する
- ・相手の良さを認める

チャレンジする力(D)

- ・教師主導ではなく、自分で考えて行動する
- ・成功体験を増やし、自身を持たせる
- ・ふり返りを生かし、現時点での到達点を自分なりに把握して次の課題に取り組む

学期	1学期		2学期		3学期	
内容						
社会科	単元名 わたしたちの県 住みよいくらしをつくる		単元名 自然災害からくらしを守る きょう土の伝とう・文化と先人たち		単元名 特色ある地いきと人々のくらし	
総合	単元名 水たんけん隊!	わたしたちの京都府 くらしをささえる水	単元名 ぼくら地球防衛隊!	ごみのしよりと利用 風水害からくらしを 守る	単元名 京都府のコマーシャル を作ろう!	・亀岡の歴史 ・歴史と文化のあるまち京都市 ・山のめぐみをいかすまち美山町 ・海のめぐみをいかすまち伊根町 ・水のめぐみをいかすまち亀岡市
学校行事						
各教科	国語	・図書館の達人になろう ・聞き取りメモのくふう ・アップとルーズで伝える ・新聞を作ろう	国語	・世界にはこる和紙	国語	・もしものときにそなえよう
	理科	・地面を流れる水のゆくえ	道徳	・いのちをつなぐ岬 ・祭りだいこ	道徳	・ぼくたちのバラ花だん
	算数	・折れ線グラフ ・一億をこえる数	算数	・表を使って考えよう ・変わり方	算数	・変わり方
基礎学力等	・(いろいろな媒体を使い)表やグラフでまとめたものを元に説明することができる。		・(タブレットを使い)調べたことや考えを動画などで表現することができる。		・自分の興味に基づいてテーマを選択し、これまで学習した方法を上手にを使って、まとめたものを発表することができる。	

令和3年度 校時表

(低学年)					(中学年)					(高学年)							
時刻	月	火	水	木	金	時刻	月	火	水	木	金	時刻	月	火	水	木	金
8:25	どの登校班も7:55~8:00に出发できるように集合場所に集まる。					8:25	どの登校班も7:55~8:00に出发できるように集合場所に集まる。					8:25	どの登校班も7:55~8:00に出发できるように集合場所に集まる。				
8:30	(トイレなど)					8:30	(トイレなど)					8:30	(トイレなど)				
8:40	朝の会(健康観察3分、諸連絡等7分)					8:40	朝の会(健康観察3分、諸連絡等7分)					8:40	朝の会(健康観察3分、諸連絡等7分)				
9:25	1校時					9:25	1校時					9:25	1校時				
9:30	2校時					9:30	2校時					9:30	2校時				
10:15	休み時間					10:15	休み時間					10:15	休み時間				
10:30	3校時					10:30	3校時					10:30	3校時				
10:35	4校時					10:35	4校時					10:35	4校時				
11:20	給食準備(手洗い・トイレ)					11:20	給食準備(手洗い・トイレ)					11:20	給食準備(手洗い・トイレ)				
12:10	給食					12:10	給食					12:10	給食				
12:50	歯磨きタイム					12:50	歯磨きタイム					12:50	歯磨きタイム				
13:00	休み時間					13:00	休み時間					13:00	休み時間				
13:15	5校時					13:15	5校時					13:15	5校時				
13:20	6校時					13:20	6校時					13:20	6校時				
14:05	終わりの会・清掃活動					14:05	終わりの会・清掃活動					14:05	終わりの会・清掃活動				
14:20	下校14:30					14:20	下校14:30					14:20	下校14:30				
14:55	下校					14:55	下校					14:55	下校				
15:10	下校					15:10	下校					15:10	下校				
15:20	下校					15:20	下校					15:20	下校				

令和4年度 校時表

中学年)

(高学年)

時刻	月	火	水	木	金
8:25	どの登校班も8:00~8:15の間に学校に到着できるように集合場所に集まる。				
8:30	(トイレなど)				
8:40	朝読書				
8:50	朝の会(健康観察3分、諸連絡等7分)				
9:35	1校時				
9:40	2校時				
10:25	中間休み				
11:30	3校時				

時刻	月	火	水	木	金
8:25	どの登校班も8:00~8:15の間に学校に到着できるように集合場所に集まる。				
8:30	(トイレなど)				
8:40	朝読書				
8:50	朝の会(健康観察3分、諸連絡等7分)				
9:35	1校時				
9:40	2校時				
10:25	休み時間				
10:40	3校時				
10:45	3校時				
11:30	3校時				

時刻	水曜6校時
8:25	どの登校班も8:00~8:15の間に学校に到着できるように集合場所に集まる。
8:30	(トイレなど)
8:40	朝読書
8:50	朝の会(健康観察3分、諸連絡等7分)
9:35	1校時
9:40	2校時
10:25	休み時間
10:40	3校時
10:45	3校時
11:30	3校時

亀岡市立亀岡小学校

【全校】

社会的事象に関心をもち、
多角的に捉えて自分の考えを表現できる児童の育成

13:50	5校時		
14:35	終わりの会 (14:35~14:45)	1年生は 終わりの会 (14:35~14:45)	終わりの会 (14:35~14:45)
14:40	下校14:55	【木曜日】 1年生は5校時授業 (14:55下校)	下校14:55
15:25	2年生は 終わりの会 (15:25~15:35)		
15:35	【雨天時】 2年生は 15:35下校		
下校 15:45			

13:50	5校時		
14:35	3年生は 終わりの会 (14:35~14:45)		
14:40	6校時	【木曜日】 3年生は5校時授業 (14:55下校)	6校時
15:25	終わりの会		
15:35	<晴れの時：下校場所> 3年 ピロティ 4年 ミニランド(手前)	<雨の時：下校場所(時こく)> 3年 ピロティ(15:35) 4年 ピロティ(15:30)	
下校 15:45	※天気に関係なく下駄箱で混み合うことを避けて出ます。		

13:50	5校時		
14:35	6校時		
14:40	6校時		
15:25	終わりの会		
15:35	<晴れの時：下校場所> 5年 ミニランド(奥) 6年 運動場(体育館前)	<雨の時：下校場所(時こく)> 5年 ピロティ(15:40) 6年 ピロティ(15:45)	
下校 15:45	※天気に関係なく下駄箱で混み合うことを避けて出ます。		

14:05	6校時		
14:10	6校時		
14:55	終わりの会		
15:05	15:15 下校		
<晴れの時：下校場所(時こく)> 3年 ピロティ(15:00) 4年 ミニランド(手前)(15:00) 1,2年 ピロティ(15:05) 5年 ミニランド(奥)(15:10) 6年 運動場(体育館前)(15:15)			
<雨の時：下校場所(時こく)> 下校場所：ピロティ 下校時間：4年(14:55) 3年(15:00) 1,2年(15:05) 5年(15:10) 6年(15:15)			

人に話をする！

かめのこころ



人の話を聞く！

人に話をする!

かめのこたーく



人の話を聞く!

- ① 全校が同じテーマで話し合う
- ② 話し合いの工夫
- ③ テーマはわかりやすいもの

自分事として考える素地を養う。

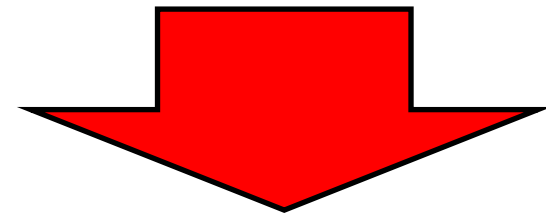
自分の考えを表現する。

学習発表会

学年ごと



学級ごと



一人一人が輝く発表会へ

カリキュラム研究部～地域教材のつながり～

教育理念—子どもは子どもの中でこそ育つ—

4つのつきたい力

自分も人も大切にできる力

自分の考えを持つ力

自分を表現する力

チャレンジする力

さくら学級
○単元
「さくら探検隊」
—体験的に経験する。

○学ぶべき内容
様々な表現方法に触れる。
他者との関わり方を学ぶ。

☆地域教材
北町のみずの木美術館

※1年間を通じて、
学習する。

1年
○単元
「あそびばにてかけよう」
「あきとなかよし」
○学ぶべき内容
公共物や公施設の利用
季節の変化と生活
自然や物を使った遊び
地域と生活
生活や出来事の伝え合い

☆地域教材
親水公園 坂部公園
駅北公園 大本植物園

さくら学級
○単元
「さくら探検隊」
○学ぶべき内容
植物(自然)の音、色、におい
—感じることから様々な体験へ
地域の方とのコミュニケーション
春夏秋冬のさくらの様子

☆地域教材
大本植物園(見学)

4年
○単元
「自然災害からくらしを守る」
○学ぶべき内容
地域の関係機関の協力や対応
今後想定される災害への備え

☆地域教材
亀岡市ハザードマップ
菜葉谷池(ぐみだにいけ)

5年
○単元
「自動車をつくる工業」
○学ぶべき内容
組み立て工場の仕組み・工夫
部品工場、関連工場と組立工場
のつながり
世界とのつながり
新しい自動車開発

☆地域教材
亀岡自動車工業
(工場見学、インタビュー)

2年
○単元
「とび出せ!町のたんけんたい」
○学ぶべき内容
町探検、お店等の見学を通して、町
の様子を知る

☆地域教材
亀岡城跡・時計屋・電気屋
印刷会社等校区内の小売店

3年
○単元
「はたらく人とわたしたちのくらし」
○学ぶべき内容
農家の仕事
店で働く人(見学あり)
—安心安全に気をつける
・SDGsなど環境への配慮
・バリアフリーの取組
学びのまとめ(発表会)

☆地域教材
スーパーマツモト

3年
○単元
「くらしを守る」
○学ぶべき内容
家事からくらしを守る取組

☆地域教材
亀岡市消防署

6年
○単元
「江戸幕府と政治の安定」
—人々のくらしと身分—
○学ぶべき内容
江戸時代の身分によるちがひ
(住む場所など)
町(ちょう)という小さな社会
仕事にまつわる地名ができる

☆地域教材
亀岡の城下町の地名とその由来
→当時住んでいた人々とは…

生活科・社会科単元と地域教材中心として

カリキュラム研究部～地域教材のつながり～

教育理念ー子どもは子どもの中でこそ育つー

4つのつけない力

自分も人も大切にできる力

自分の考えを持つ力

自分を表現する力

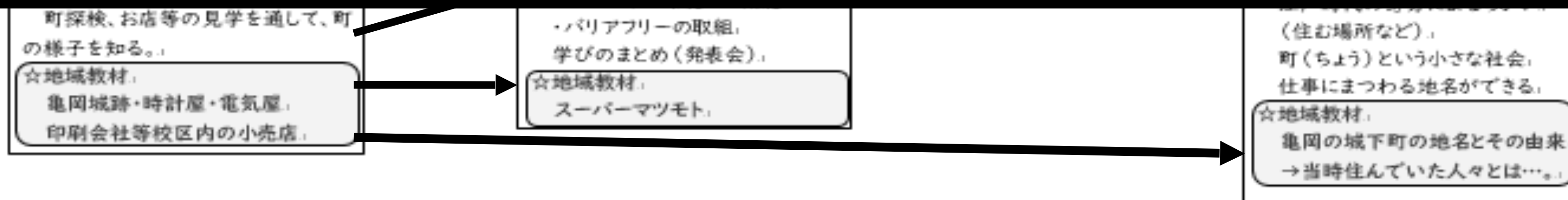
チャレンジする力



生活科・社会

<p>1年、</p> <p>○単元、</p> <p>「あそびばにてかけよう」、</p> <p>「あきとなかよし」、</p> <p>○学ぶべき内容、</p> <p>公共物や公施設の利用、</p> <p>季節の変化と生活。</p>	<p>さくら学級、</p> <p>○単元、</p> <p>「さくら探検隊」、</p> <p>○学ぶべき内容、</p> <p>植物(自然)の音、色、におい、</p> <p>一感じることから様々な体験へ、</p> <p>地域の古物のマツモト。</p>	<p>4年、</p> <p>○単元、</p> <p>「自然災害からくらしを守る」、</p> <p>○学ぶべき内容、</p> <p>地域の関係機関の協力や対応、</p> <p>今後想定される災害への備え、</p> <p>☆地域教材</p>	<p>5年、</p> <p>○単元、</p> <p>「自動車をつくる工業」、</p> <p>○学ぶべき内容、</p> <p>組み立て工場の仕組み・工夫、</p> <p>部品工場、関連工場と組立工場</p> <p>のつながり。</p>
---	---	--	--

社会的事象に関心をもち、
多角的に捉えて自分の考えを表現できる児童の育成



理論・子どもの変容研究部

(1) 生活科・社会科アンケートの実施

(全体の变容を見とる)

(2) OPPシート（一枚ポートフォリオ評価法）の活用

(個人の变容を本人が見とる)

(3) 抽出児童の本単元における变容

(個人の变容を教師が見とる)



☆研究主題

(A) 社会的事象に関心を持ち

(B) 多角的に捉えて

(C) 自分の考えを表現できる 児童の育成

①事前事後アンケートより

①自分で調べる活動

②他の人の意見を聞いて考える活動

③資料を読み取る活動

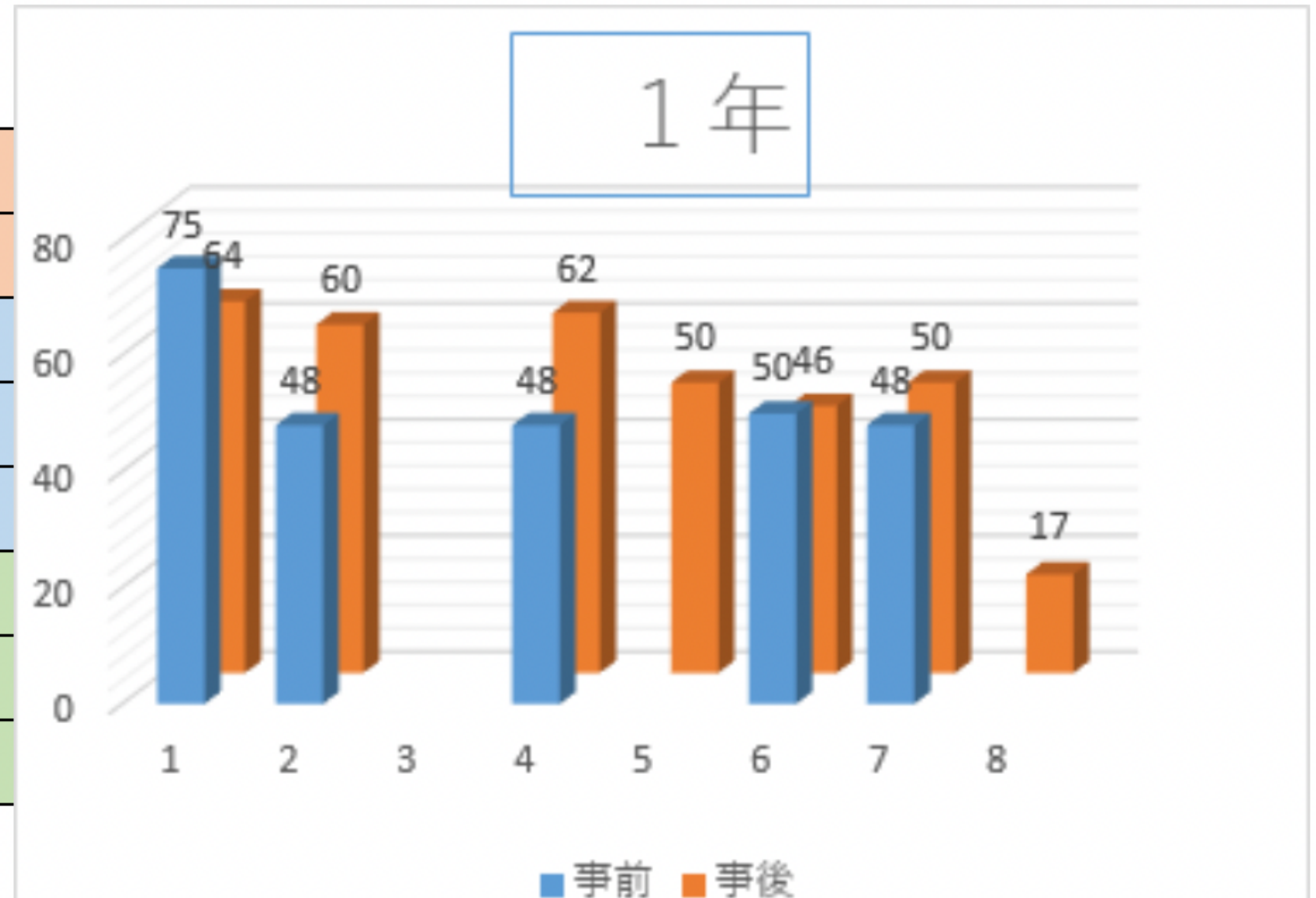
④みんなで話し合う活動

⑤予想や仮説を立てる活動

⑥自分の考えを言葉で伝える活動

⑦自分の考えを書いて伝える活動

⑧その他



①事前・事後アンケートより

前：○自分で調べる（育てたり、自分のことは自分でしたりする）活動に積極的であると事前アンケートでは、答えた児童が多かった。（やや実態とは離れていた。）

△水筒洗いや靴洗等、自分でやるべきことと捉えていない児童が多くいた。

→本単元では、自分でできることや挑戦したいことを考えて、実行できる力をつけたい。

後：○友だちの話聞き、みんなで話し合う活動が好きであると答えた児童が増えた。

○おうちの仕事に対する意識が高まった。

○自分のことが自分でできるという意識をもつ児童が少し増えた。

○お手伝いをしている児童も授業前よりも少し増えた。

○自分も家族の一員だという意識が少し芽生えたように思う。

○話し合えたという意識も高まり、発表が好きな児童が増えた。

○日々の観察での絵や文を書く活動が積み重なり、書くことへの抵抗が少なくなってきた。

②OPPシートより

はじめは、自分のことは全部自分でしているつもりでいた児童もいたが、仕事調べや仕事体験を通して、家族に支えてもらっていることに気づくことができていた。また、その後も仕事を続けたり、友達のしていた仕事にチャレンジしてみたりと、授業の後にも仕事を続ける姿も見られた。

③個人内の変容

H.S	はじめは自分のことばかりだったが、友達の仕事に対して目を向けられるようになった。感じたことを本児なりに考え伝えることができた。何でも自分でできる気でいたが、お家の人に支えてもらっていることに気づくことができた。
I.S	なかなか自分の考えをみんなの前で伝えることはできないが、自分がやってきた仕事に自信をもっている様子が授業中の態度から伝わってきた。もっともっとできることを増やしたいと振り返ることもできた。
K.S	ふだんなかなかお家のかたに褒めてもらえないが、今回の取り組みを通して、家族に笑顔を届けることができた。両手をあげることもできた。友達のアドバイスを素直に受け止めたり、今後も仕事を続けたいと前向きな様子が見られた。

☆研究主題

(A) 社会的事象に関心を持ち

(B) 多角的に捉えて

(C) 自分の考えを表現できる 児童の育成

①事前事後アンケートより

①自分で調べる活動

②他の人の意見を聞いて考える活動

③資料を読み取る活動

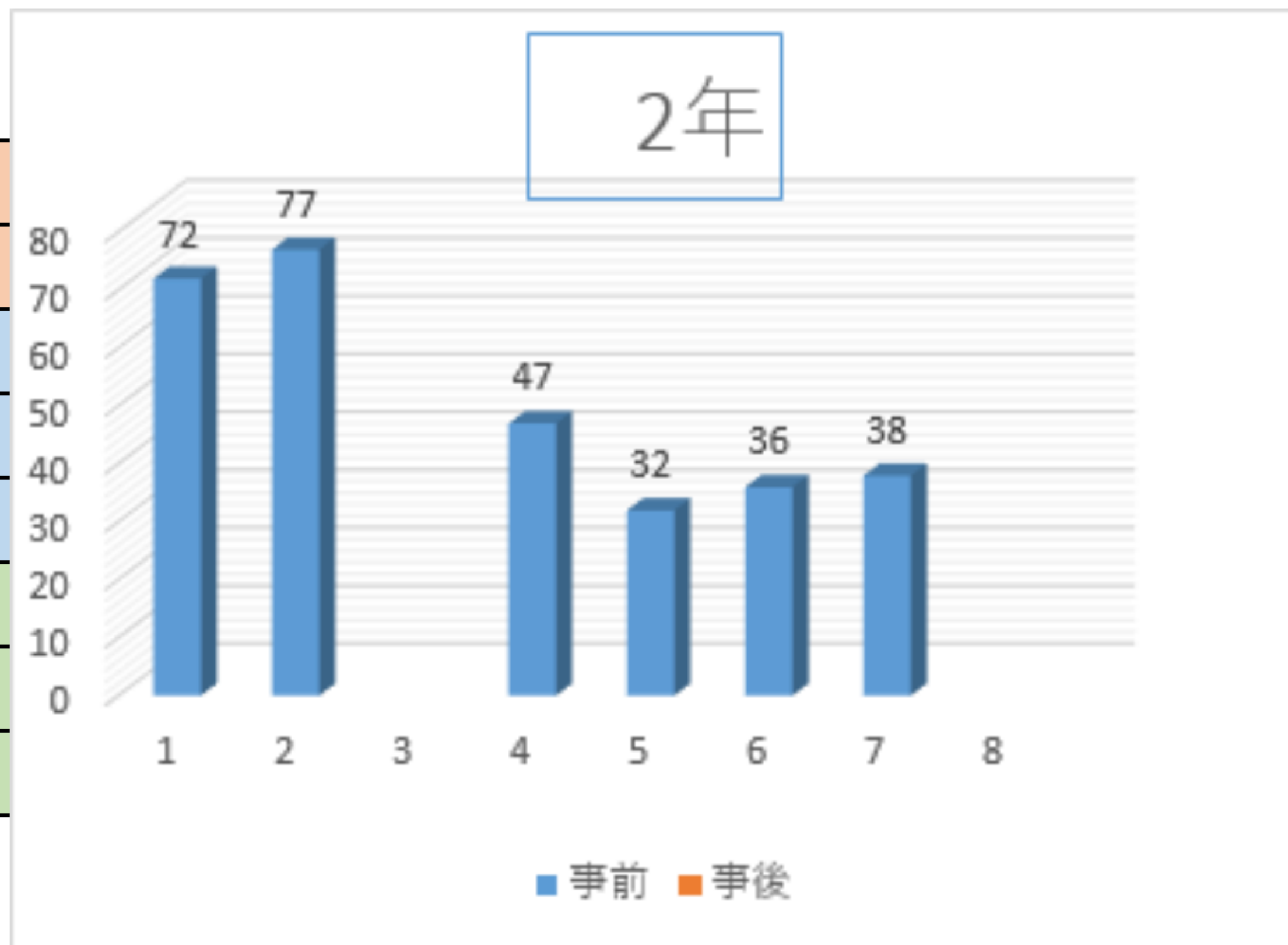
④みんなで話し合う活動

⑤予想や仮説を立てる活動

⑥自分の考えを言葉で伝える活動

⑦自分の考えを書いて伝える活動

⑧その他



①事前アンケート考察

○自分で調べたり育てたりする活動に積極的。

→体験的な活動を通して主体的に取り組めるようにしてきた。本単元では、町のすてきを見つけるという単元を貫く願いを持つことで探検する視点を明確にした。

○友達の意見を聞く活動が好き。

→児童同士の話し合いの中で、友達の意見に共感したり新たな気づきが生まれたりする児童が多いように感じる。友達の意見を聞いて町の良さに気づき自分事として捉えられるようにしたい。

△自分の考えを持ったり、それを表現したりすることが苦手。

△少人数なら自分の考えを伝える児童は多いが、全体の場になると消極的になる。

→町探検という体験を通して自分なりにこだわった町のすてきを見つけ、自分の考えに自信を持って表現する力をつけたい。

②OPPシートより

学習前と学習後で「あなたが思う自分たちの町のすてきを教えてください」と同じことを問う予定である。学習前には、スーパーや公園、サンガスタジアムなど行ったことや聞いたことがある場所の名前のみを書く児童が多かった。また、町の人が優しいことを書く児童も少数いた。学習を通して、自分の町のすてきについて自分なりの理由を持って表現できることを期待する。

1 OPPシートの活用

学習前

○事故という言葉を使って文を3つ作ってみよう。

-
-
-

学習後

○事故という言葉を使って文を3つ作ってみよう。

-
-
-



○学習前と学習後をくらべて、何が分かりましたか。あなたの考えはどのように変わりましたか。

社会

事故や事件からくらしを守る

学習の終わりに自分のタイトルをつけよう!



3年 組 番

名前

①今日のべん強で一番大切だと思うことを
書きましょう。

タイトル



②今日のべん強で一番大切だと思うことを
書きましょう。

タイトル



③今日のべん強で一番大切だと思うことを
書きましょう。

タイトル



⑥今日のべん強で一番大切だと思うことを
書きましょう。

タイトル



⑤今日のべん強で一番大切だと思うことを
書きましょう。

タイトル



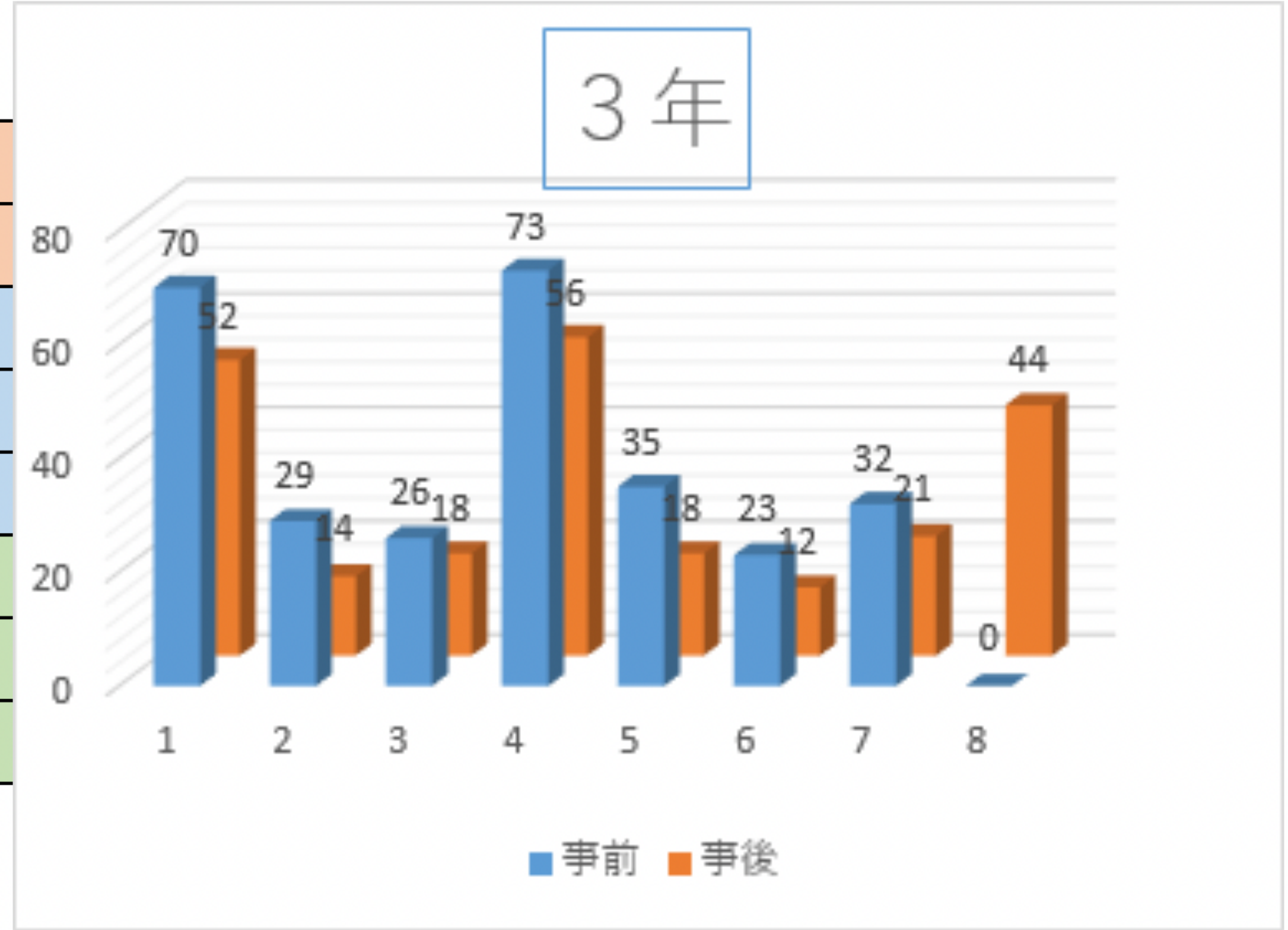
④今日のべん強で一番大切だと思うことを
書きましょう。

タイトル

☆研究主題	(A) 社会的事象に関心を持ち	
	(B) 多角的に捉えて	
	(C) 自分の考えを表現できる	児童の育成

①事前事後アンケートより

- ①自分で調べる活動
- ②他の人の意見を聞いて考える活動
- ③資料を読み取る活動
- ④みんなで話し合う活動
- ⑤予想や仮説を立てる活動
- ⑥自分の考えを言葉で伝える活動
- ⑦自分の考えを書いて伝える活動
- ⑧その他



①事前・事後アンケートより

前：○自分で調べる、グループ内発表は積極的に取り組める。

△資料から必要な内容を正確に捉えたり、その内容を自分でまとめることは苦手である。

→本単元では調べたことを発表する力をつけたい。

後：○「学びと育ちの発表会」で発表できるように学習内容を班でまとめ、役割を分担することで上手く発表できた。それぞれの意見を持ち寄り、共同でまとめることで意見がより詳細かつ厚みを持ち、班の仲間がいることで自信を持って発表できた。

A観点：理解が深まり、自分の地域が身近になった。

B観点：みんなと学習する楽しさを感じた。

C観点：自分で表現することができるようになり、その自信が学習の楽しさにつながった。

②OPPシートより

A観点	亀岡市の土地の高さや、土地の広さ、またその土地の使われ方が分かったので勉強になりました。
	町の形が分かりました。社会の授業で色々知りたいです。
	社会で土地・場所が分かりました。だからもっと教科書を読んで土地を知りたいです。
B観点	みんなと一緒に調べられたり、勉強ができて嬉しかったです。
	みんなと一緒に勉強したことが、きっと役に立つだろうなと思います。
C観点	友達と話し合うのが楽しかったです。自分の変わったところは、いっぱい発表するところです。
	手を上げるのが楽しかったです。
	答えるのが楽しかったです。

☆研究主題

(A) 社会的事象に関心を持ち

(B) 多角的に捉えて

(C) 自分の考えを表現できる 児童の育成

①事前事後アンケートより

①自分で調べる活動

②他の人の意見を聞いて考える活動

③資料を読み取る活動

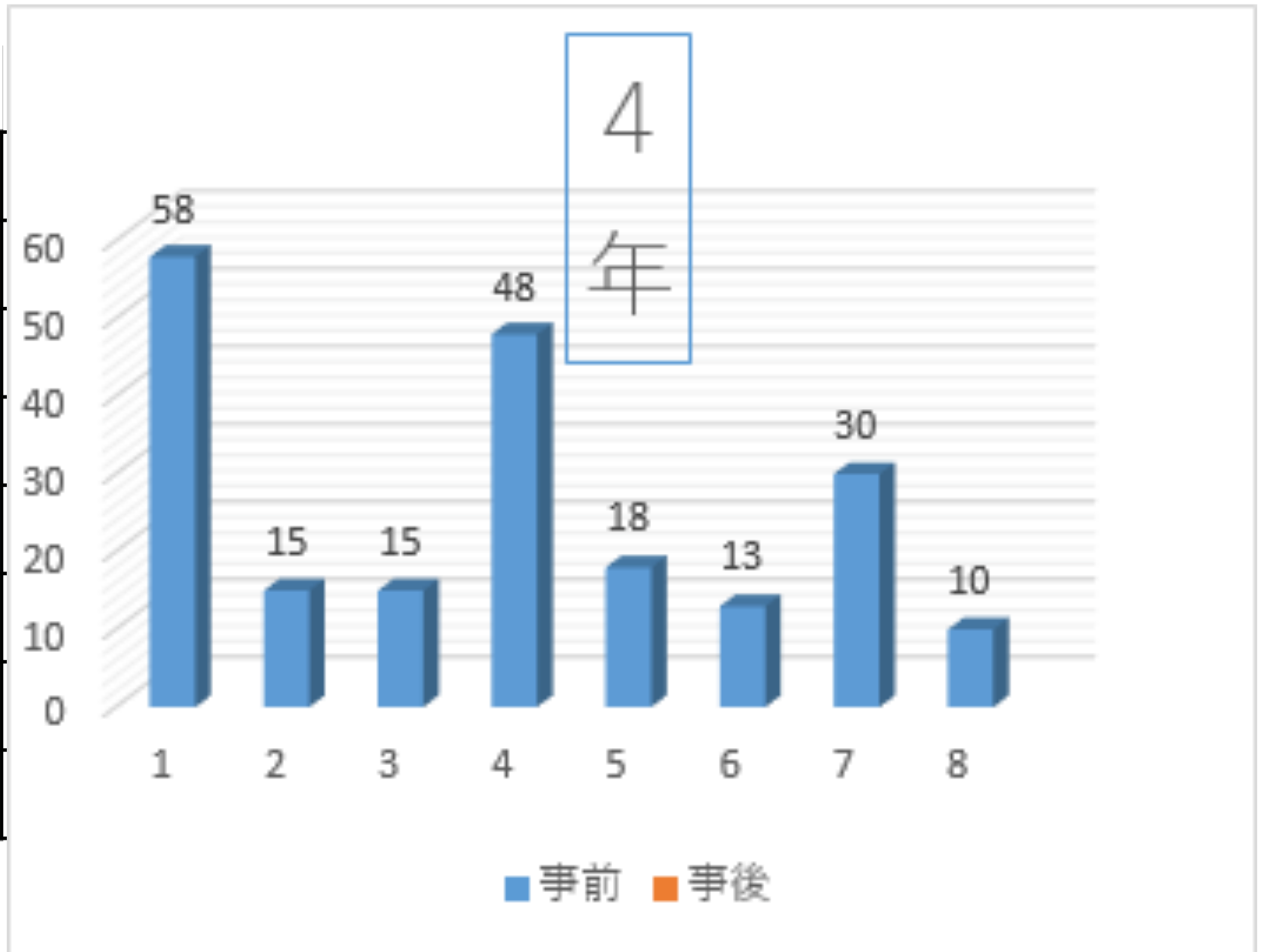
④みんなで話し合う活動

⑤予想や仮説を立てる活動

⑥自分の考えを言葉で伝える活動

⑦自分の考えを書いて伝える活動

⑧その他



①事前アンケート考察

○自分で調べたり育てたりする活動に積極的である。

→自分の考えに合う写真を調べさせ、自分の疑問に応じて調べ学習を進めてきた。

○みんなで話し合う活動が好きである。

→グループやペアでの話し合いから友達の見解を聞き、自分の見解を友達に伝える経験を多く積んでいけるようにしたい。

△資料を読み取る活動が苦手

→写真から多様な見解を出させる活動を多く取り入れていく。

△話し合う活動自体は好きだが、言葉で思いを伝えることが苦手と感じている児童が多い。

→本単元では、話し合い活動の中で、自分の考えや思いを相手に正しく伝えることをねらいとしていきたい。

②OPPシートより

学習前と学習後で「集中豪雨が来ても、亀岡市は安全か。」と同じことを問う予定である。学習前には、膝まで水がくる程度の水害が起こった場合に、「とにかく高いところに逃げればよい」と考える児童が多かった。学習を通して、高いところへの避難だけでなく、状況に応じて適切な避難の仕方を考え、表現できることを期待する。

☆研究主題

(A) 社会的事象に関心を持ち

(B) 多角的に捉えて

(C) 自分の考えを表現できる 児童の育成

①事前事後アンケートより

①自分で調べる活動

②他の人の意見を聞いて考える活動

③資料を読み取る活動

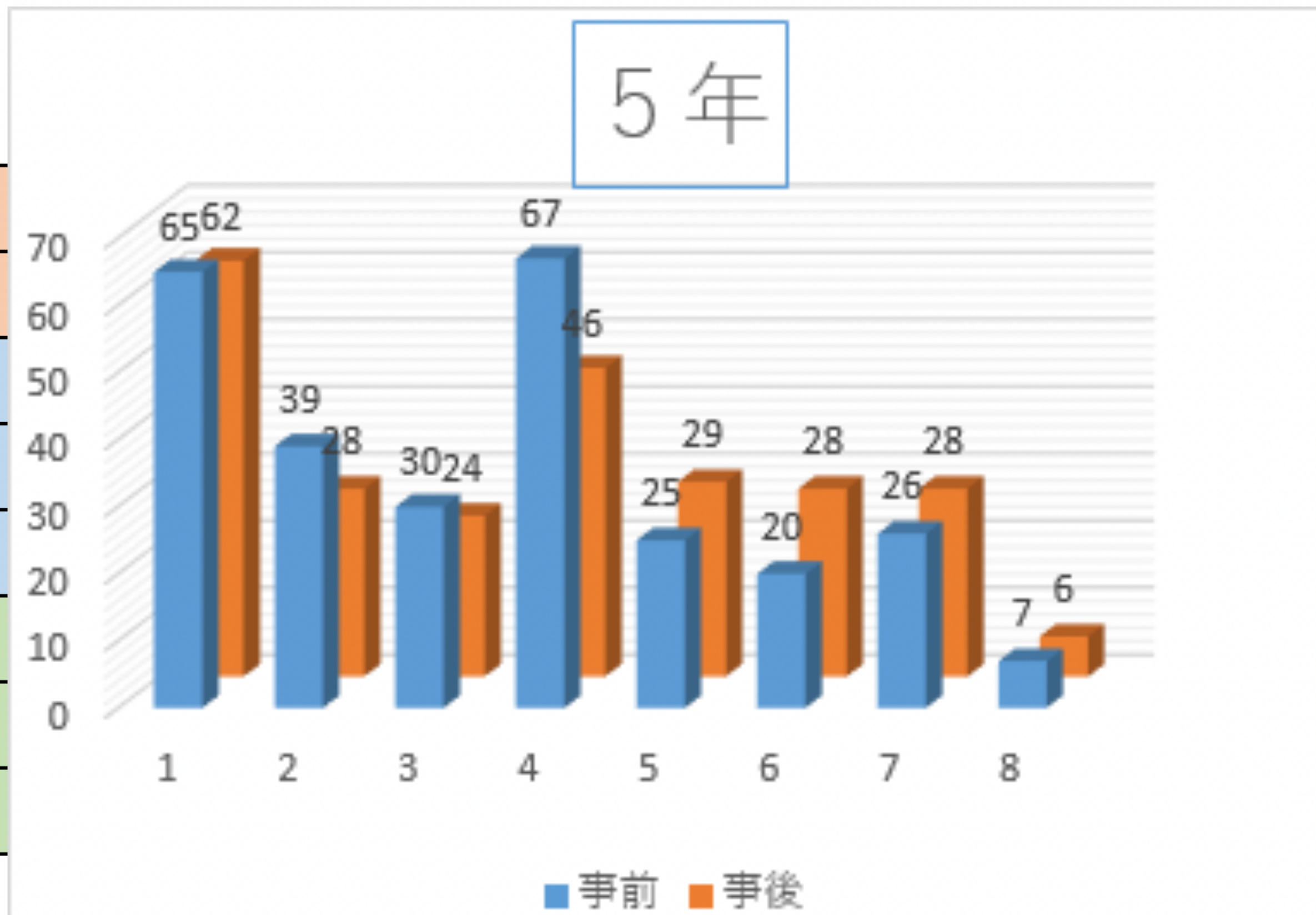
④みんなで話し合う活動

⑤予想や仮説を立てる活動

⑥自分の考えを言葉で伝える活動

⑦自分の考えを書いて伝える活動

⑧その他



①'事後アンケート考察

前：○話したり調べたりすることは好き。

△自分の考えをもったり、伝えたり、見通しをもったりすることが苦手。自分だけでやることは消極的で、自分でアイデアを生み出すことが苦手。

→本單元では、調べたことをもとに自分の考えをしっかりともち、友達に伝える力をつけたい。

後：A観点…世の中に少し興味をもち始めたと感じる。

B観点…既習事項と結びつけて考えられるようになってきた

が、友達の意見を聞いて考えを広げたり深めたりすることには至っていない。

C観点…自分の考えをもてるようになった。自信がついた。

②OPPシートより

- ・自動車づくりで、環境に合わせて協力し合ってお客さんの好みに合わせて技術を使って作っているから、お客さんからしても使いやすいと思ってもらえるような自動車を作っているんだなと思いました。車以外の他の機械ではどんな工夫があって、どんな技術があるのかを調べてみたいし、どういう思いでしているかなども知りたいなと思いました。
- ・自分が当たり前のように乗っている車には、自動車づくりの人が工夫をしてくれていたり、僕たちが乗ったときに事故にならないように約1,500から2,000の検査をしてくれていて、そのうち合格したものが売り出されるなどのことがやってあるということがこの学習で分かったので、車に乗るときは車を作ってもらった人に感謝して大切に乗りたいです。
- ・日本の自動車づくりは、消費者などのたくさんの方のことを考えて作ってあって、だからこそたくさんの方に求めてもらえるようなものになるんだなと思いました。今、こんなにすごい車があるのなら、何年か経った世界の車はどんなことになっているのかとても気になりました。このように、消費者のことを考えて工夫しているのだと思いました。

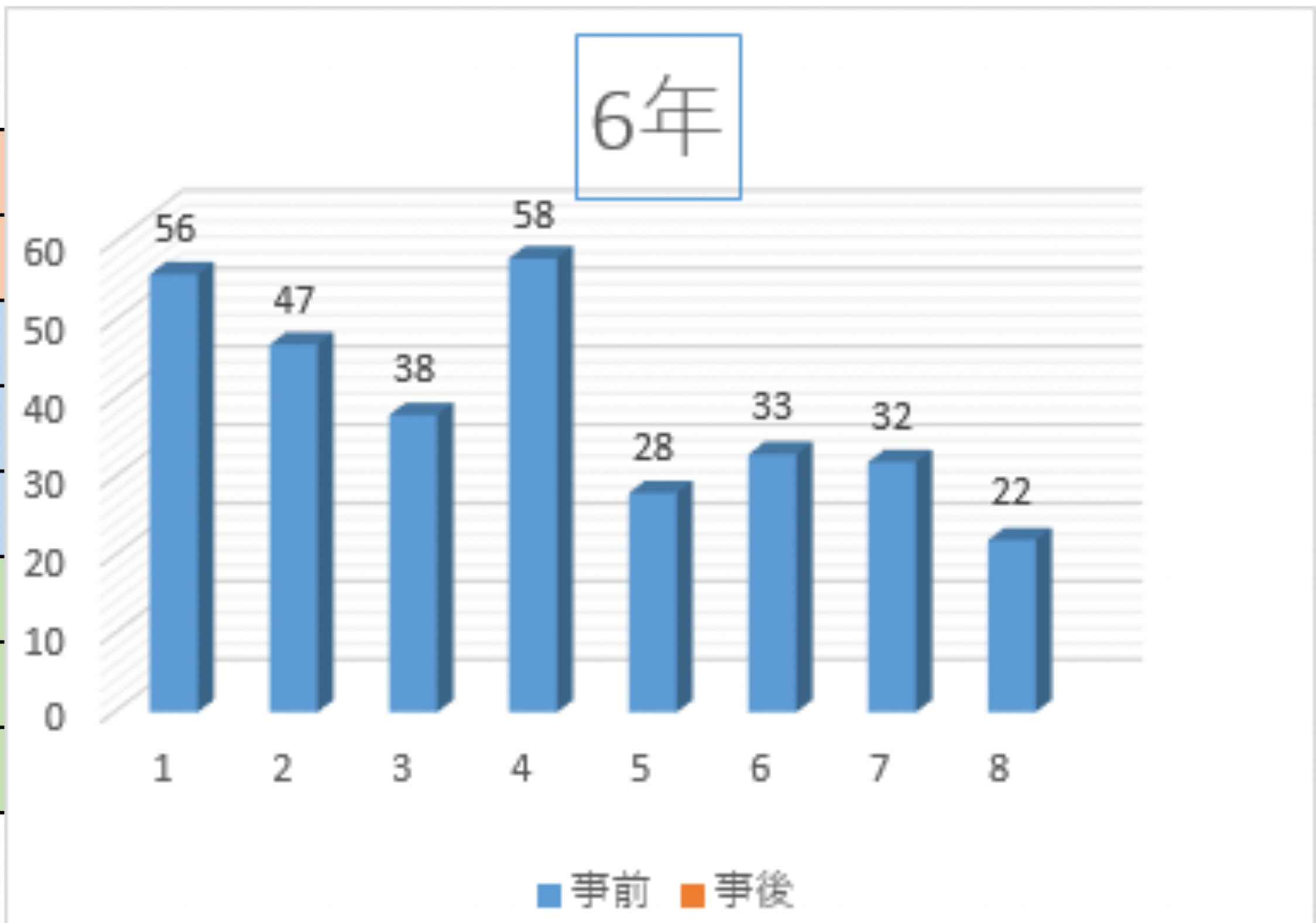
③個人内の変容

T.Y	最初は自分の中でも曖昧な考えだったが、3人テーブルを通して自分の意見に自信が持てた。板書のキーワードをもとにまとめや振り返りをしっかりと考えられた。
N.S	3人テーブルで交流したことで、その後の活動にも前向きに取り組むことができた。また、友達にアドバイスもすることができた。
K.T	たくさんの方との交流を通して、自分の意見がより明確になり考えを深めることができた。働く人々への視点を持つことができた。
K.N	自分の考えをしっかりと持っていたが、交流を通して友達の意見にも賛成し、自分の考えが変わった。振り返りでは、自分事として考えることができた。
K.H	交流の際に、友達の意見をしっかりと聞くことができた。全体指導の際には理解するのが難しいが、交流をもとにまとめを書くことができた。

☆研究主題	(A) 社会的事象に関心を持ち	
	(B) 多角的に捉えて	
	(C) 自分の考えを表現できる	児童の育成

①事前事後アンケートより

- ①自分で調べる活動
- ②他の人の意見を聞いて考える活動
- ③資料を読み取る活動
- ④みんなで話し合う活動
- ⑤予想や仮説を立てる活動
- ⑥自分の考えを言葉で伝える活動
- ⑦自分の考えを書いて伝える活動
- ⑧その他



①事前アンケート考察

- ・自分で調べる活動を好む児童が多い。
→教科書・資料集・インターネット等を活用し、自分で調べ学習を行う習慣がついている。また、調べるテーマ設定も興味関心がもてる内容になっている成果ではないか。
- ・みんなで話し合う活動を好む児童が多い。
→調べたことから自分の考えをもち、伝え合うことが習慣化できている。また、討論会や立場を明確にした話し合いを好む児童も多い。
- ・仮説や予想を立てる活動を好む児童が少ない。
→教師側の単元導入の工夫や”単元を貫く問い”を児童に自分事として落とし込む工夫が更に必要である。

②OPPシートより

本学年は、単元を貫く問いに対するふり返りを、毎時間の終わりにロイロノートに書きためていくスタイルに取り組んだ。

まず、このスタイルは非常に有効であると感じた。児童が自分の毎時間の変化に気づきやすくなる点、教師が評価しやすくなる点の2点が大きな理由である。

江戸幕府が行った政策で、特に有効であると感じたものが日々変わる児童もいれば、最初の考えを貫き通した児童もいた。児童によって内容は様々であるが、自分の考えを整理することが上達した児童は多くいた。

考えたことをそのままにしておくのではなく、他者に伝える力に。また、疑問に思ったことがあればさらに深めていこうとする探究心につなげていきたい。



地域教材の活用

かめの子トーク

研修の充実

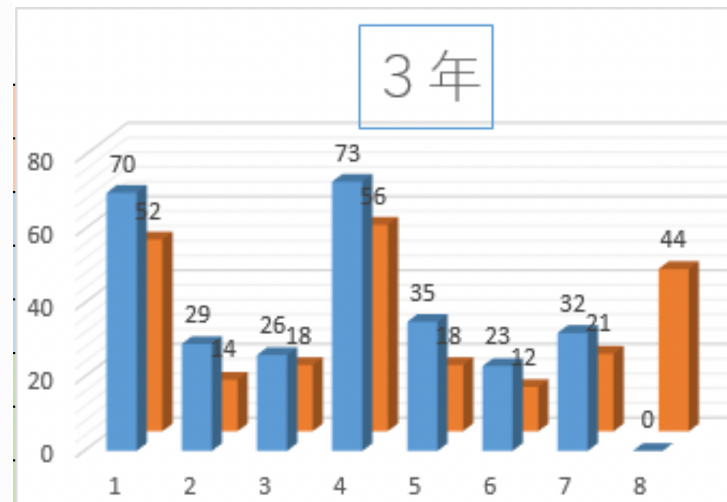
つけたい力
単元目標

単元を貫く問いを
生み出すための問い

START

単元を貫く問い

GOAL!



事前・事後アンケート

1/1

社会
事故や事件からくらしを守る

学習前
○事故という言葉を使って文を3つ作ってみよう。
●
●
●

学習後
○事故という言葉を使って文を3つ作ってみよう。
●
●
●

学習の終わりに自分のタイトルをつけよう!

3年 組 番 _____

名前 _____

○学習前と学習後くらべて、何が分かりましたか、あなたの考えはどのように変わりましたか。

OPPシートの活用

研究主題

「社会的事象に関心を持ち、
多角的に捉えて
自分の考えを表現できる児童の育成」

確実に育つてきている

3年目に向けて

- ・ 授業者の思考ツールとなるような指導案の在り方を模索
- ・ どんな單元でも、「自分事」として捉えられるように、地域教材の更なる発掘・活用を目指す
- ・ 抽出児童の変容を経年比較
- ・ 現研究主題を見直し、さらにステップアップしていく

「社会的事象に関心を持ち、
多角的に捉えて
自分の考えを表現できる人」

グローバル社会で
将来豊かに生き活躍するために！



welcome!



心理的安全性



「成功するチームの構築に最も重要なものである」と発表し話題になった概念

個人の主体性を持ちつつ、
集団中心にして振る舞う力

しなやかな集団

よりよい社会をつくるために、

自ら社会に働きかける児童、

しなやかな学習集団の育成

3年目の
本発表も
お楽しみに！

ご清聴ありがとうございました

